

株式会社タムラ製作所

2013年3月期 第2四半期決算概要

2012年11月9日



1. 2013年3月期第2四半期決算概要
2. 2013年3月期 通期業績予想

1. 2013年3月期第2四半期決算概要

ハイライト(要約損益計算書)

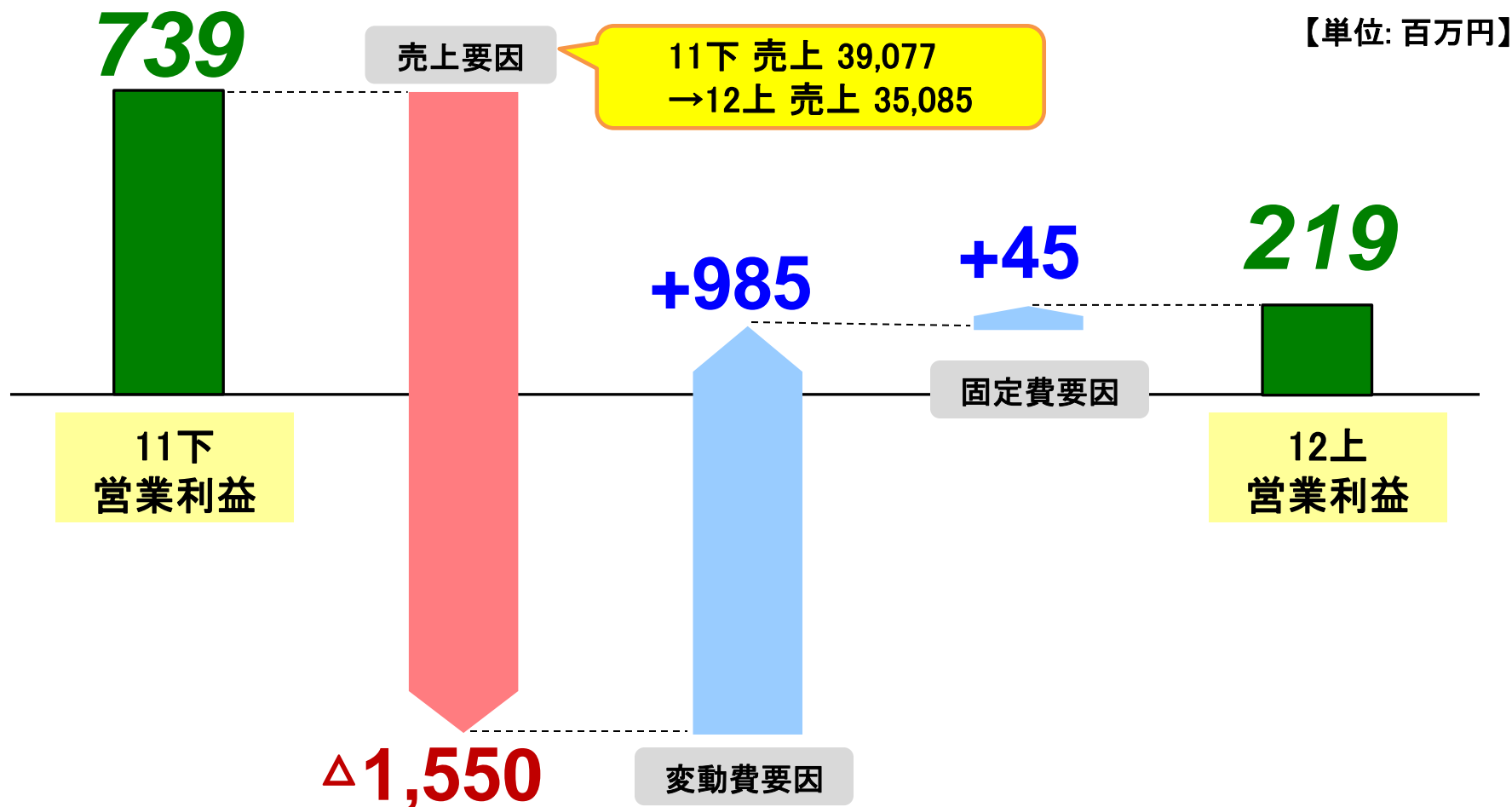
欧州債務危機に伴う景気低迷の長期化、
中国など新興国経済の急速な減速が追い打ち

12上 期中平均実績為替レート: \$1= 79円 41銭
 12上 期中平均社内為替レート: \$1= 79円 50銭
 12上 期末日実績為替レート : \$1= 77円 60銭
 参考 期首計画為替レート: \$1= 80円

【百万円】

	11上	11下	12上	前年同期 増減	参考: 12上期 期首予想
売上高	38,163	39,077	35,085	△3,078	38,000
営業利益	677	739	219	△458	700
営業外損益	△312	△187	△139	173	△250
経常利益	365	552	80	△285	450
特別損益	△231	69	△76	155	△50
税引前損益	134	621	4	△130	400
当期純損益	13	173	△198	△211	100

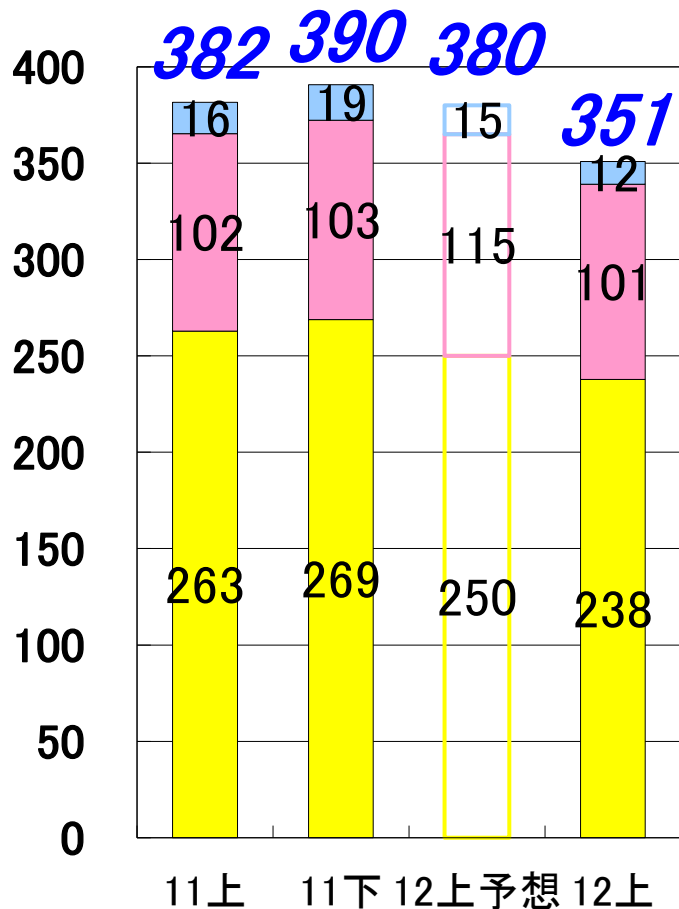
売上の減少に対して、原材料のコストダウンや
経費削減で収益の確保を図る



電子部品関連：LED・エコカー向け堅調も全体の落ち込みカバーできず
 電子化学実装関連：スマートフォン・車載向け製品が利益に貢献
 情報機器関連：国内デジタル放送への投資が一段落

売上高

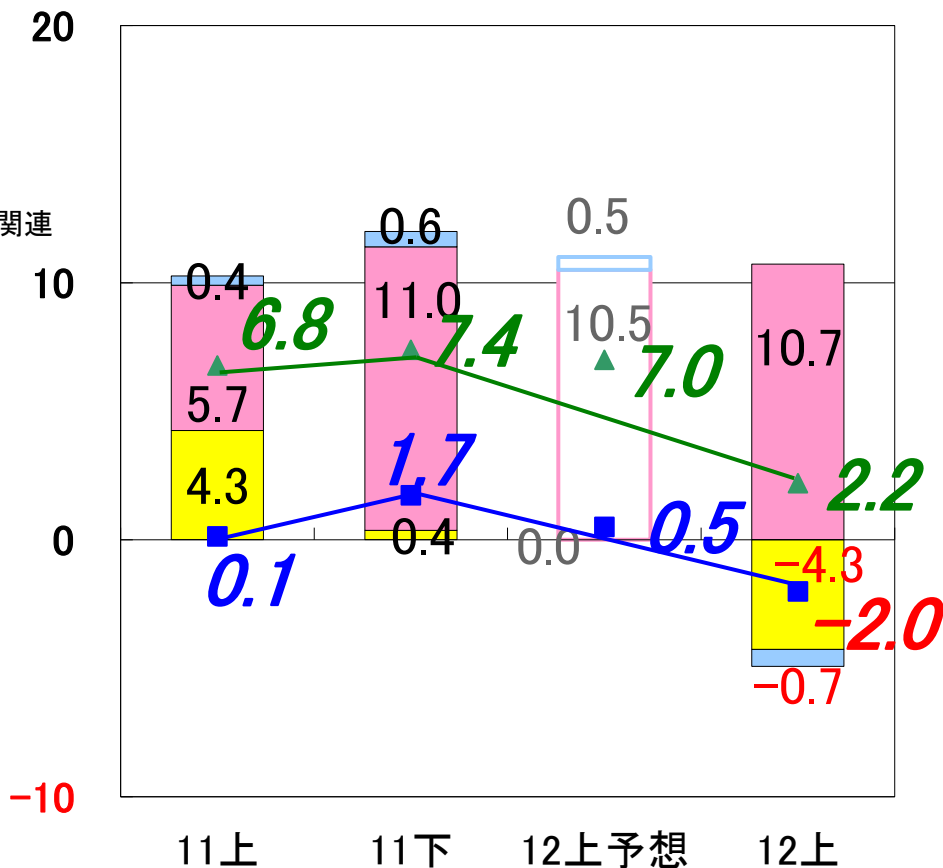
【億円】



営業損益

【億円】

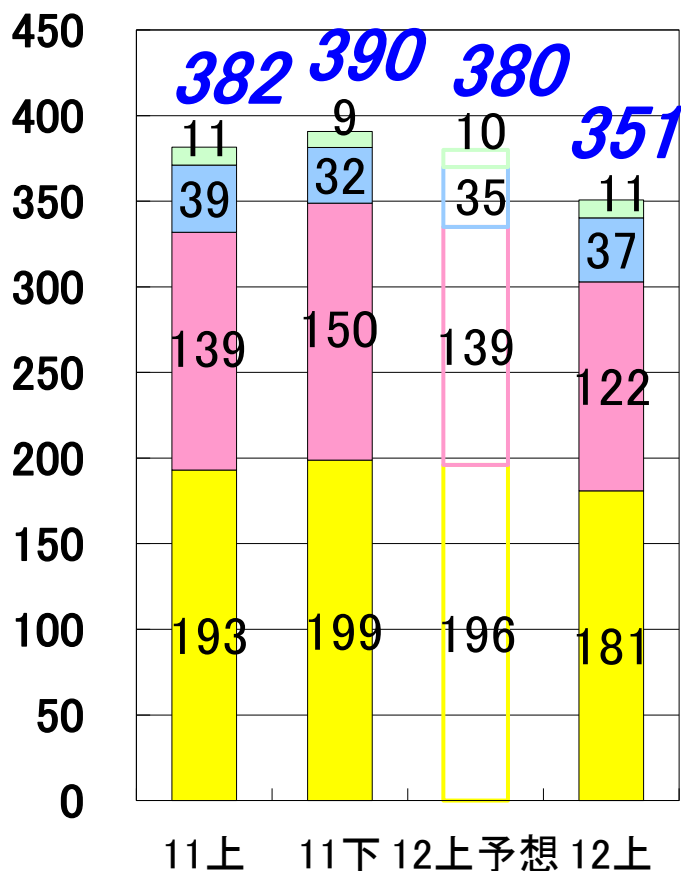
- 情報機器関連
- 電子化学実装関連
- 電子部品関連
- ▲ 営業損益
- 純損益



欧州債務危機に伴う欧州や先進主要国の景気が低迷
 アジアが一部持ち返すも秋口からは中国関連取引が
 急速に低迷し、厳しい状況で推移

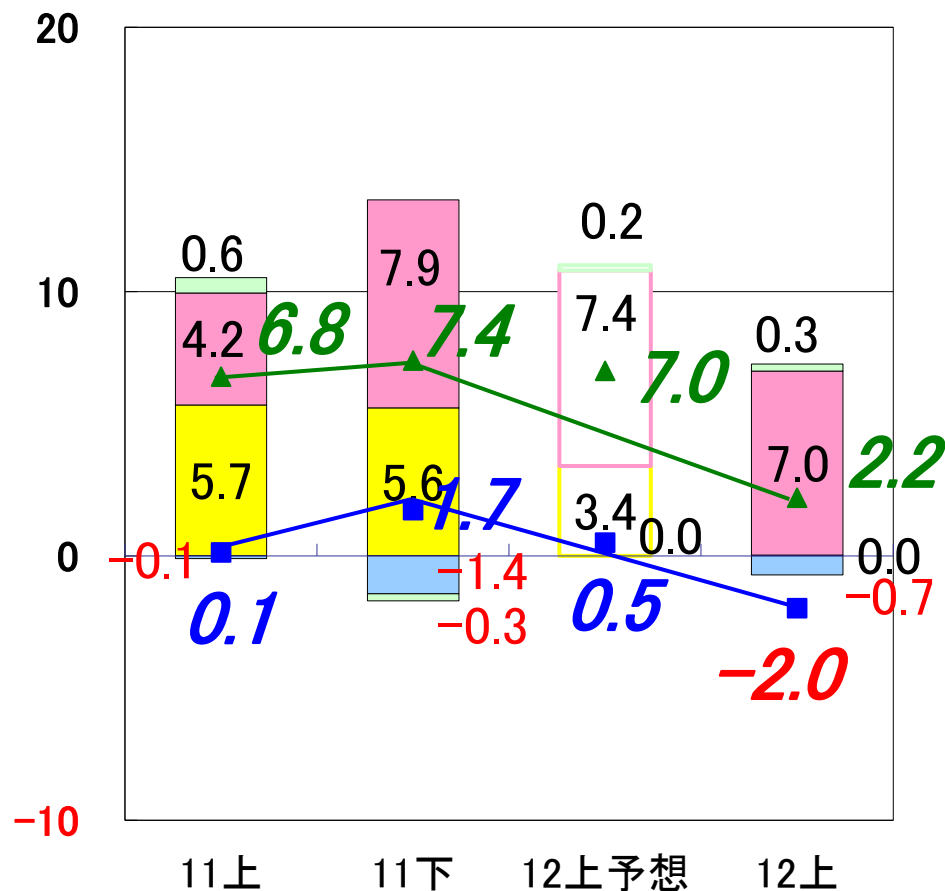
売上高

【億円】



営業損益

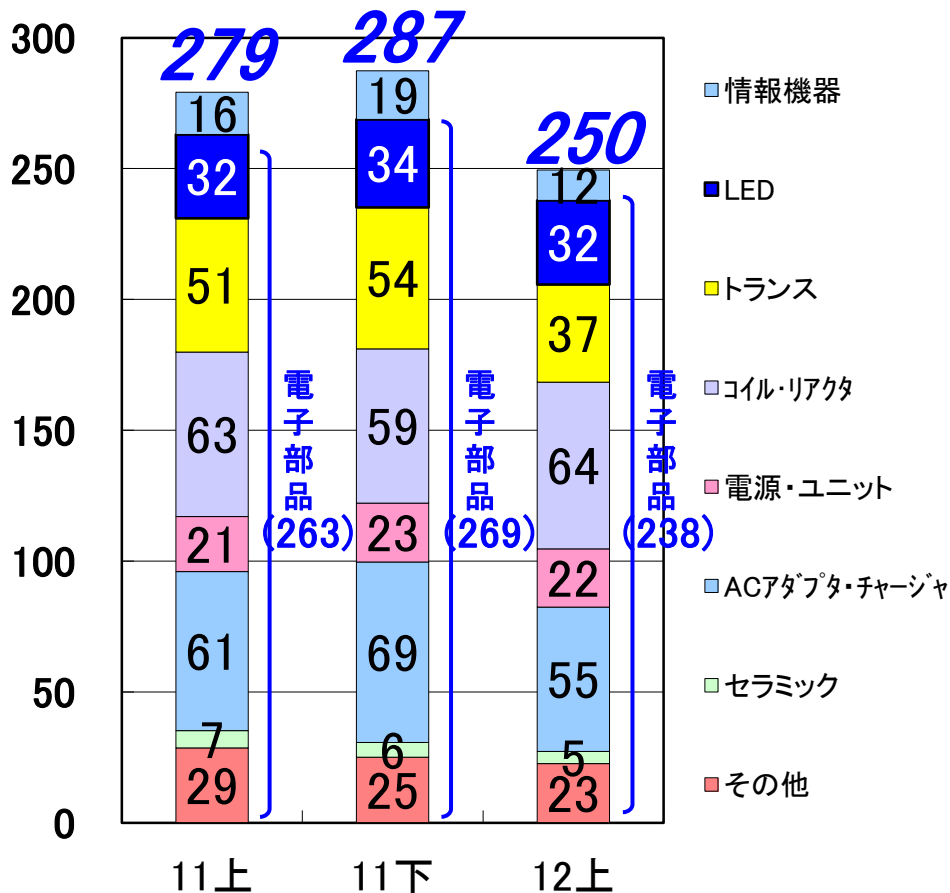
【億円】



電子部品関連：市場拡大を押し進めてきた産業機械、エネルギー、家電住宅関連製品の落ち込みが売上に大きく影響
 情報機器関連：震災後のセキュリティ更新需要が落ち着き売上減

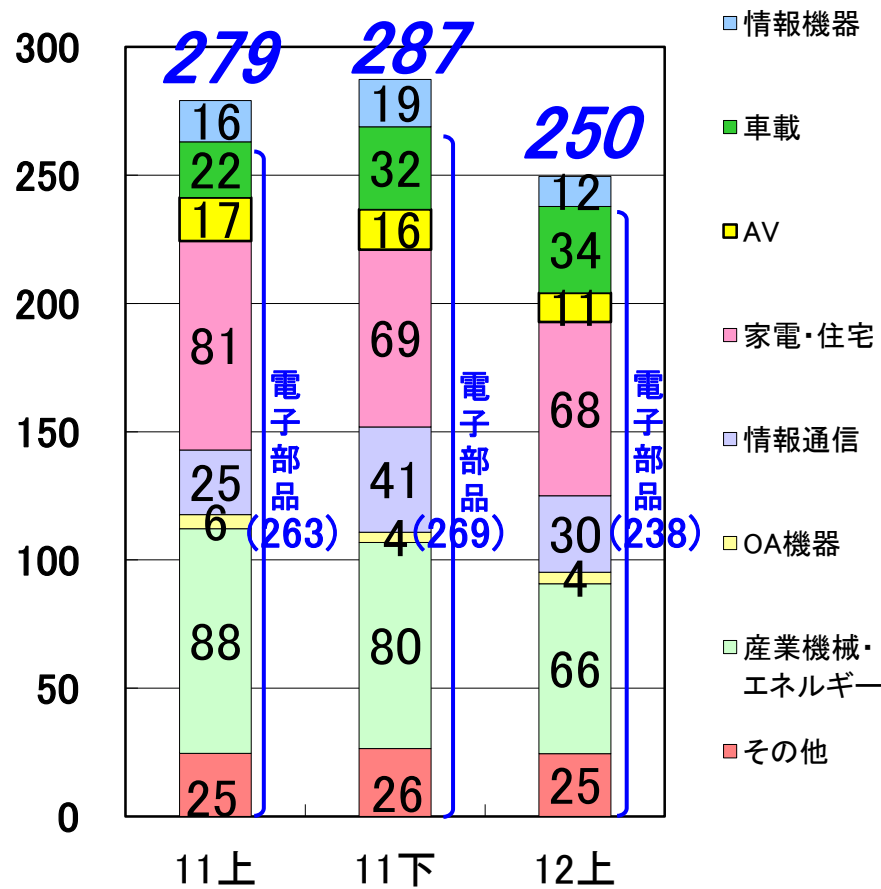
製品別 売上高

【億円】



市場別 売上高

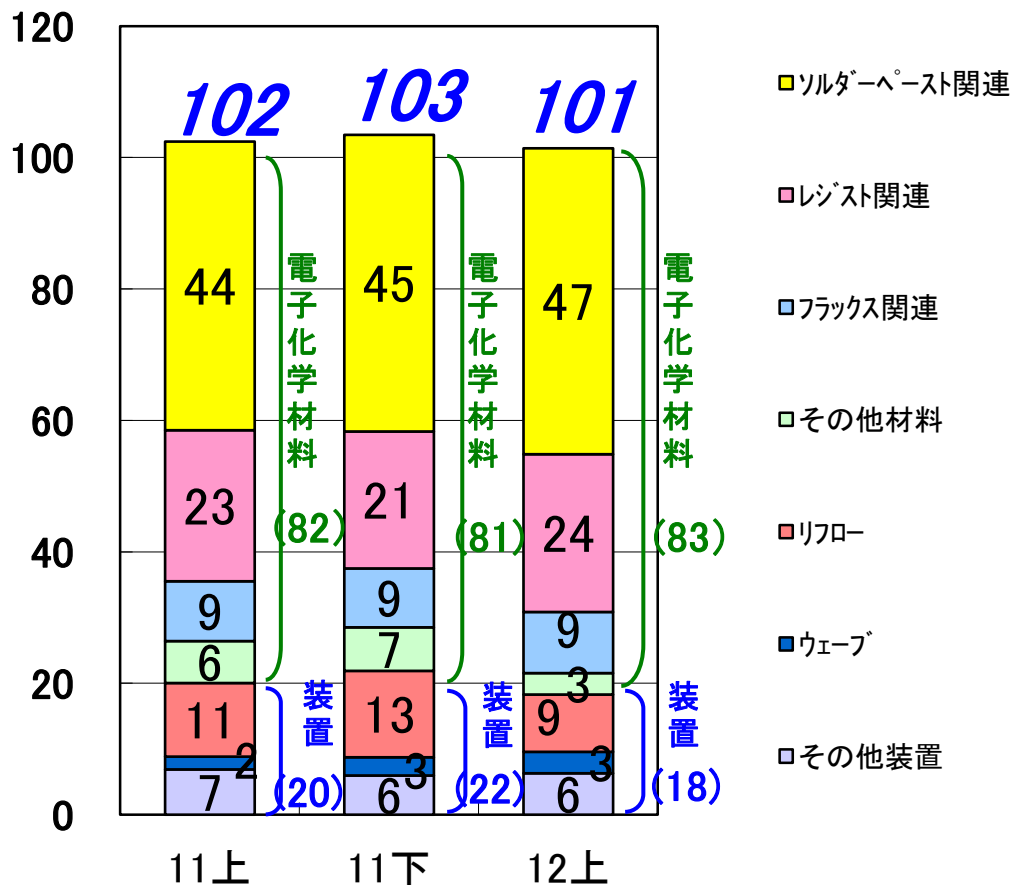
【億円】



スマートフォン向けフレキシブル基板向け回路材料や、新製品のソルダーペーストが堅調に推移

製品別 売上高

【億円】



◆拡大するスマートフォン市場など、成長市場で期待される製品を展開

作業性、効率性、コスト削減を促進

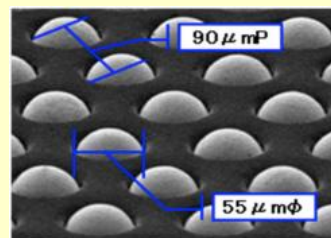


- ・自由に膜厚調整が可能
- ・有機物、無機物の材料どちらにも対応
- ・印刷とインクジェット方式の塗布が可能

*透明部分が透明の絶縁材を硬化させたもの
(黒い部分はフレキシブル基板用黒色絶縁材)

透明絶縁インク

半導体の高機能化・薄型化・小型化をさらに促進



従来11μ m前後だった粉末の直径を4~6μ m前後にし、130μ mピッチも対応可能に

フリップチップ接続用
マイクロバンプ形成ソルダーペースト

総資産は圧縮傾向(減収が原因) 純資産は純損失の見合い分が減少

【百万円】

	11上	11下	12上	対11下
流動資産	47,278	45,195	43,811	△1,384
(現預金)	11,756	9,726	11,323	1,597
(売上債権)	21,162	22,017	19,766	△2,251
(棚卸資産)	12,320	11,008	10,583	△425
(その他流動資産)	2,037	2,444	2,138	△306
固定資産	22,420	21,808	21,498	△310
(有形固定資産)	17,460	16,747	16,680	△67
(無形固定資産)	1,594	1,456	1,420	△36
(投資、その他)	3,364	3,604	3,396	△208
資産合計	69,699	67,004	65,310	△1,694

※1
※2
※3

主な増減

- ※1 現預金1,597百万円増加
 - ※2 売上債権2,251百万円減少
 - ※3 棚卸資産 425百万円減少
 - ※4 仕入債務 1,391百万円減少
- キャッシュフローの改善

流動負債	26,551	24,819	24,505	△314
(仕入債務)	11,768	12,016	10,625	△1,391
固定負債	14,768	14,410	13,132	△1,278
(有利子負債)	23,032	21,438	21,236	△202
負債計	41,320	39,230	37,638	△1,592
純資産合計	28,379	27,773	27,671	△102
負債・純資産合計	69,699	67,004	65,310	△1,694

※4

営業CF 減収を補い売上債権減・在庫減、仕入債務減により改善→FCF大幅改善
投資CF 設備投資抑制により支出減少
財務CF 配当負担増(光波完全子会社化に伴う新株発行)なるも借入金一部返済

【百万円】

	11上	11下	12上	12上コメント
営業活動による キャッシュフロー	△1,171	975	2,984	売上債権の減少+2,788 棚卸資産の減少+596 仕入債務の減少△1,936
投資活動による キャッシュフロー	△1,407	△772	△800	有形固定資産の取得△916
フリーキャッシュ フロー	△2,578	203	2,184	
財務活動による キャッシュフロー	613	△1,787	△636	借入金のリース債務の純減△391 配当金の支払△244
キャッシュの増減	△1,898	△1,933	1,531	
キャッシュの残高	11,521	9,588	11,185	

2. 2013年3月期 通期業績予想

世界的な景気の鈍化と中国関連取引の急速な縮小により
売上高は減少するも、経費削減効果で通期は若干の黒字を予想

損益予想

12下期 予想為替レート \$1= 79円

参考 期首計画為替レート \$1= 80円

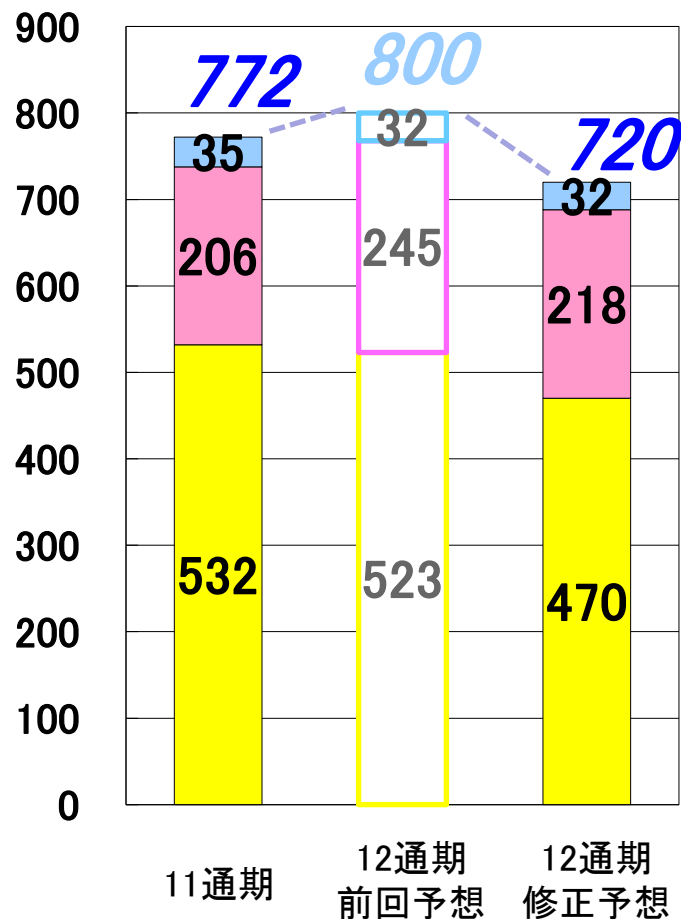
【百万円】

	11 通期 実績	12 上期 実績	12 下期 予想	12 通期 修正予想	対前年 増減	参考: 12通期 期首予想
売上高	77,240	35,085	36,915	72,000	△5,240	80,000
営業利益	1,416	219	1,180	1,400	△16	2,400
経常利益	917	80	970	1,050	133	1,800
当期純利益	186	△198	598	400	214	1,000

引き続き厳しい市場環境が予想される中、
電子化学実装関連を中心に収益を確保

売上高

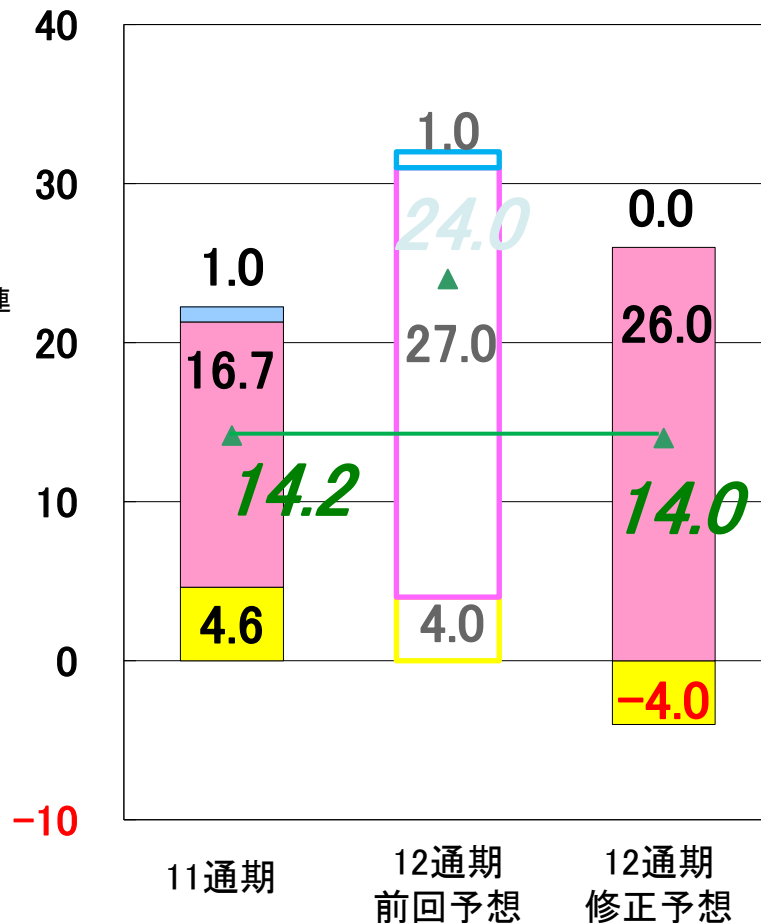
【億円】



営業損益

【億円】

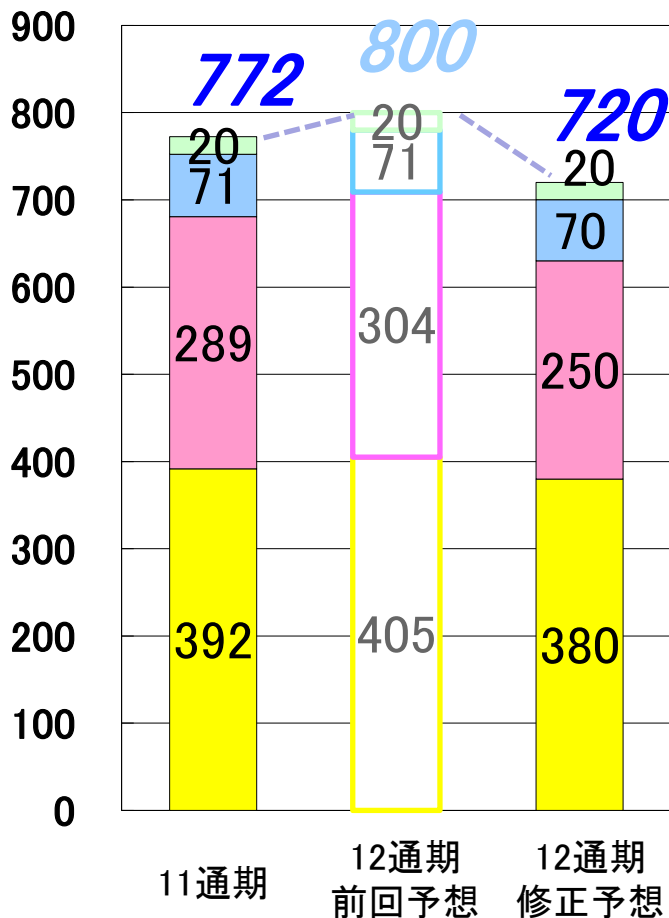
- 情報機器関連
- 電子化学実装関連
- 電子部品関連
- ▲ 営業損益



欧州債務危機に伴う欧州や先進国の低迷が続く中、
中国をはじめとする新興国経済も急速に減速

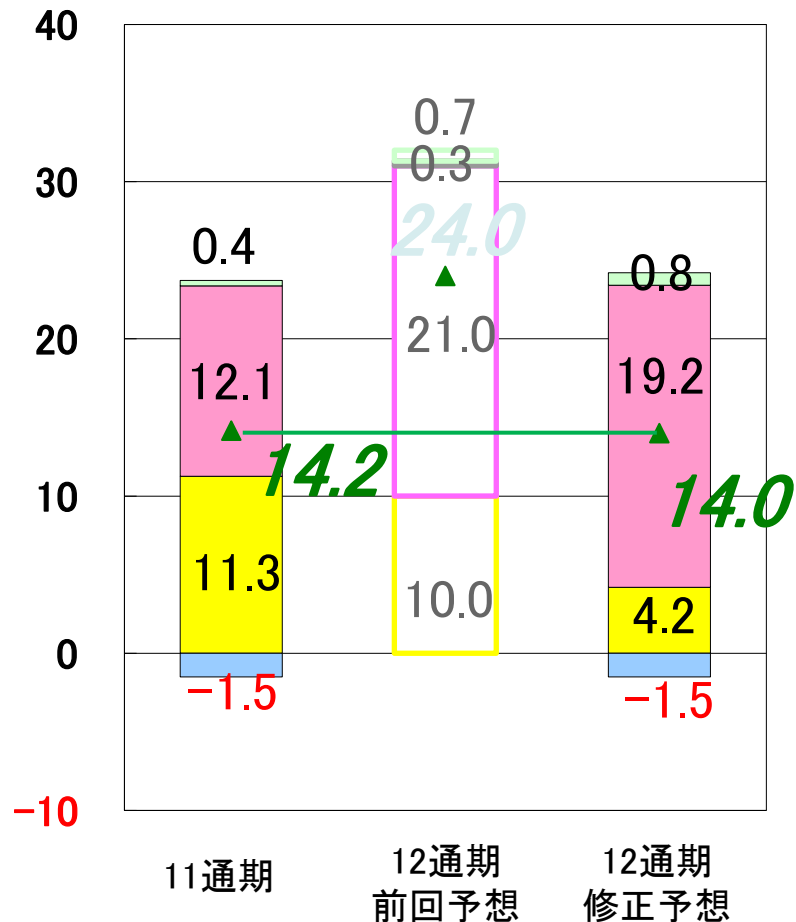
売上高

【億円】



営業損益

【億円】

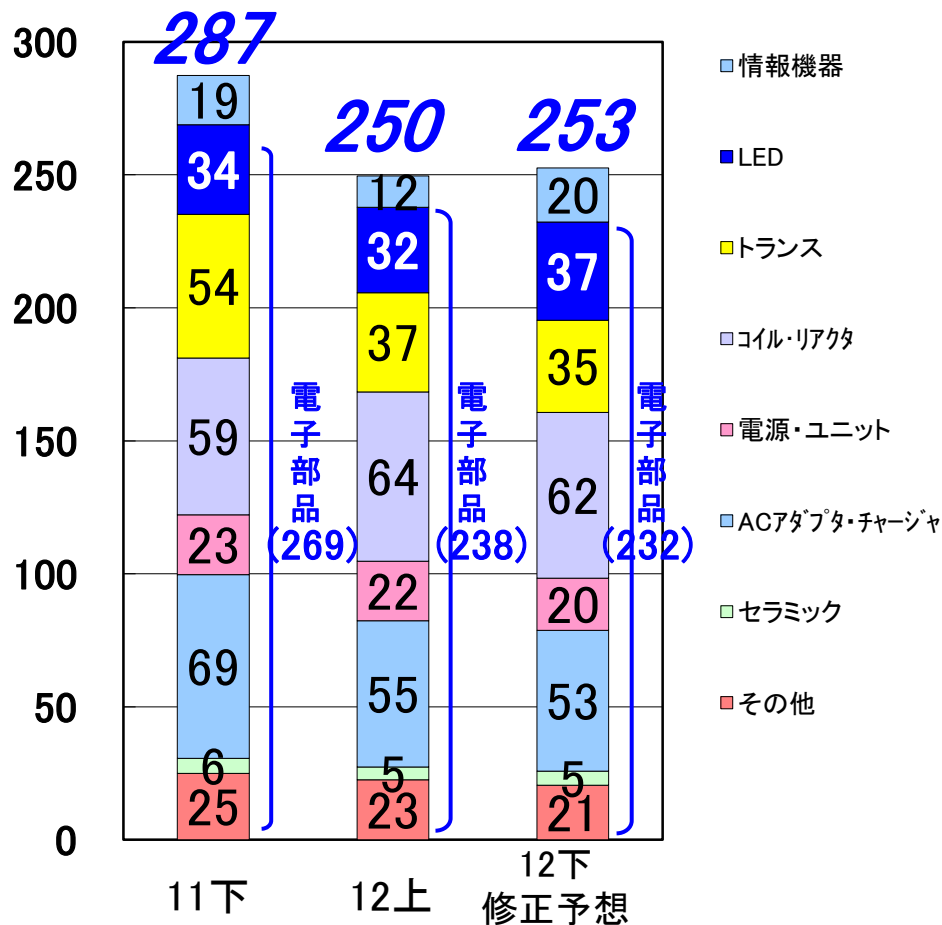


電子部品関連：LED関連製品が下期も引き続き好調に推移

情報機器関連：中国・台湾・韓国でのデジタル放送化へプロモーション

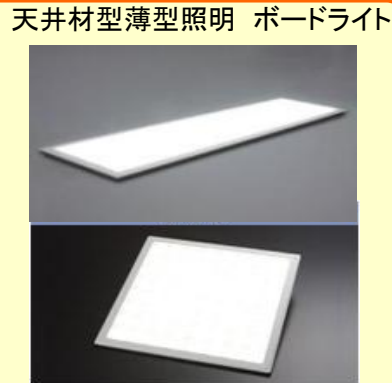
製品別 売上高

【億円】



◆チェーン店導入や代理店経由の展開も

業界最高クラスの明るさ
ダイクロハロゲンタイプ
LED電球



◆音声卓の海外プロモーション

NT660(最新モデル)

価格、機能、操作性のベストバランス
NTシリーズのハイスペックコンパクトモデル

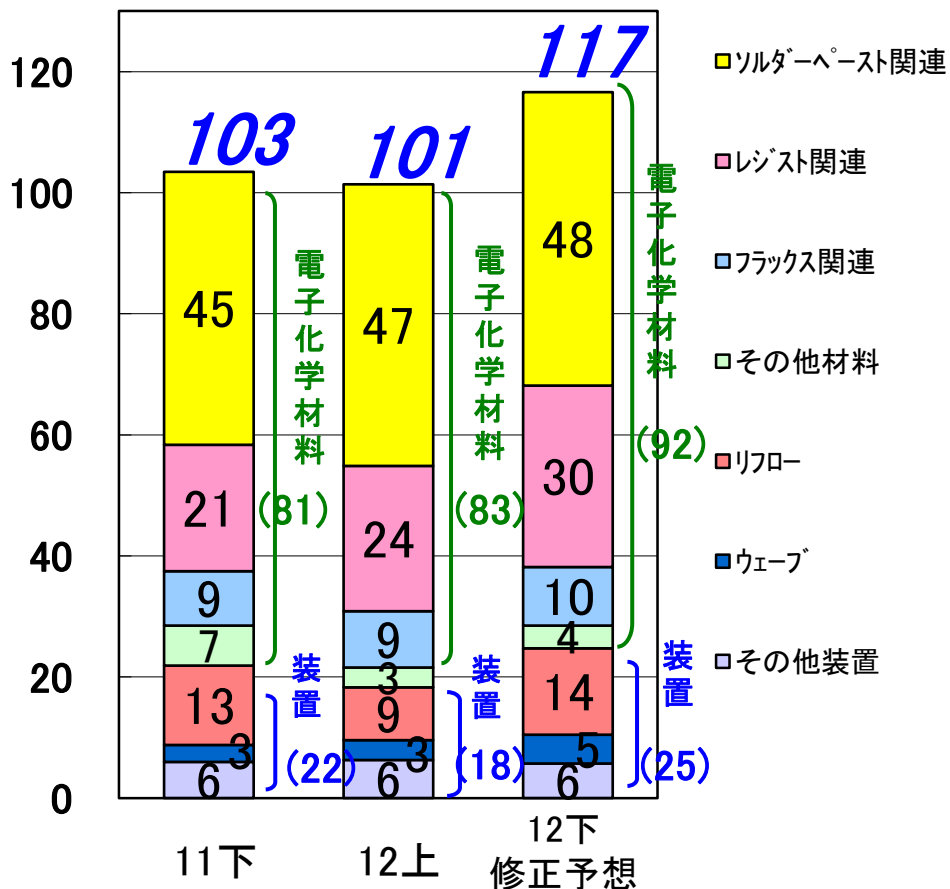


デジタル音声調整卓

電子化学材料：市場の期待に応える製品を投入し、売上増を目指す
 はんだ付装置：世界的な景気減速の中、確実に顧客を取り込む

製品別 売上高

【億円】



◆オンリーワン価値を発揮する新材料

ハロゲンフリー・鉛フリー



- ・部品から携帯機器まで幅広い用途に使用可能
- ・新開発の活性材料と強化合金で高い接合信頼性、ぬれ性を実現

低銀鉛フリーソルダーペースト

◆好調なエコモデルの販売を強化

省エネ N2リフローシステム



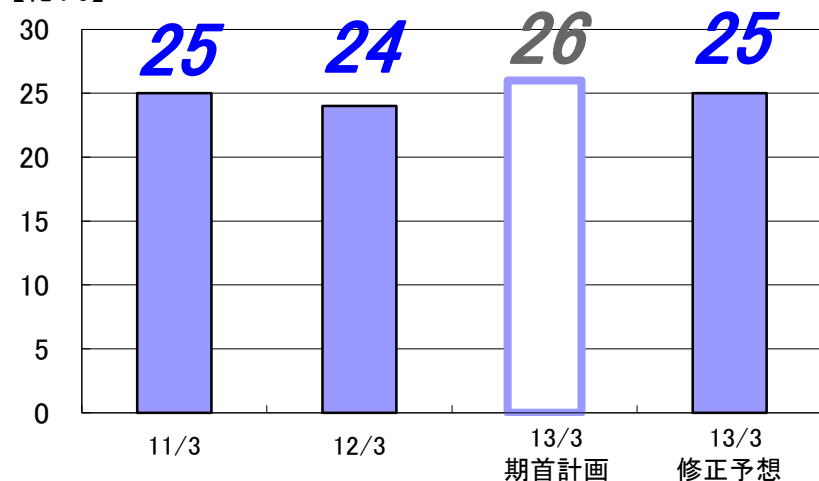
- ・安定時の平均有効電力を削減
*12.6kW→7.5kWまで削減
- ・窒素消費量を大幅削減
空調の負荷も削減
*N2消費量約28%削減

*当社調べ

TNVシリーズ

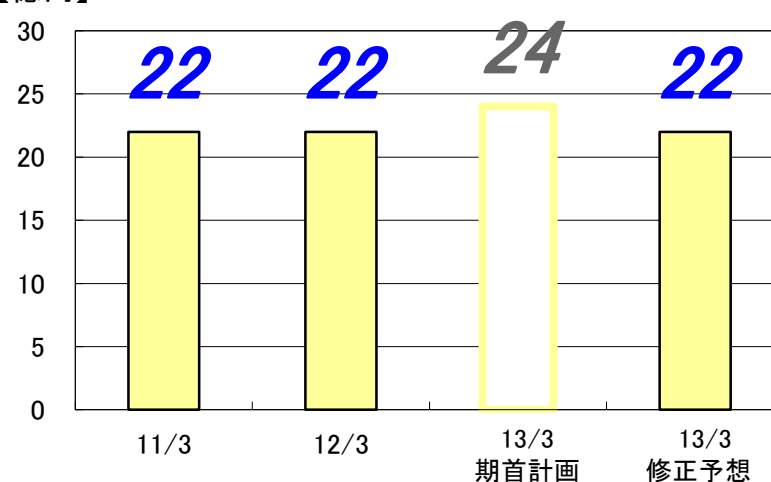
設備投資

【億円】



減価償却費

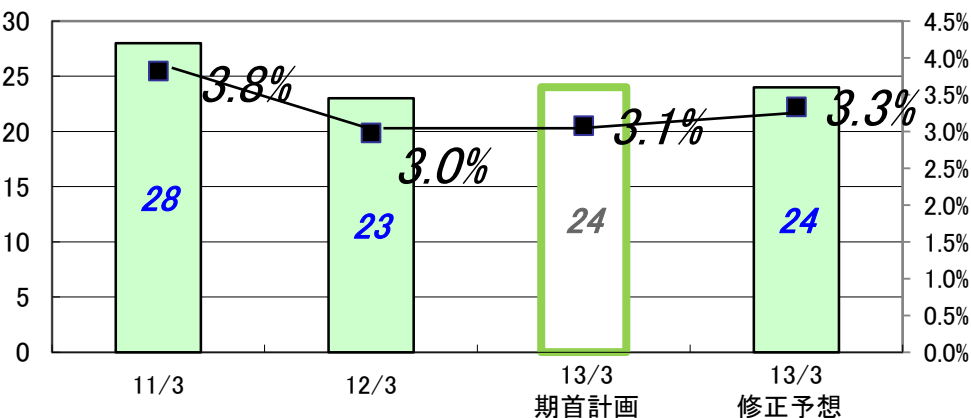
【億円】



研究開発関連費用

【億円】

□ 試験研究開発費 ■ 対売上高比率



投資効果を最大限にするべく集中と選択

戦略事業を中心に設備投資・開発投資増強

- ・次世代エネルギー(太陽光・風力発電他)市場向け
製品: 超大型トランス・リアクトル等
- ・高輝度LED関連
- ・電子化学材料 新素材関連
- ・国内生産強化
- ・バングラデシュ工場生産能力拡大

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。